

市長タウンミーティングを開催しました

令和7年度第12回（通算29回目）となります今回は「ごみの減量・資源化」をテーマに市長が様々な世代の皆様のご意見やご提案を伺いました。

開催日時 令和8年3月1日（日）午前10時30分～12時
開催場所 こどもと福祉の未来館多目的室1号・2号
参加者 51名



市長コメント

市長に就任して29回目、令和7年度第12回となりますタウンミーティングは「ごみの減量・資源化」をテーマにこどもと福祉の未来館を会場に開催いたしました。

たくさんの市民の皆さまにご参加いただきまして、改めまして感謝申し上げます。

1時間30分という限られた時間ではありましたが、「外国人の方へのごみ分別に関する普及啓発」、「紙おむつの資源化」、「こども世代へのごみの減量・資源化に関する普及啓発」など、様々なご意見・ご提案をいただきました。

いただきましたご意見・ご提案を今後の市政に活かして参りたいと考えております。有難うございました。

参加者の主な声

- ごみの複雑な分別をちゃんと理解しているということは日本人でも難しいと思いますが、外国人の方にもそういう努力を一層していただきたいと思います。
- ごみの集積所について、高齢化が進んでごみの当番が出来ない人が増えている。シルバー人材センターの支援をいただくことはできないか。
- ごみの有料化には長所もあるので、さらなる高みを目指し、検討していただきたいと思います。
- 戸別収集の検討をお願いします。これを進めれば、ごみの減量、市民の意識の変化、リサイクル率も向上してきます。
- まちづくりセンターなどで行われている拠点回収のうち、単一素材プラスチックの収集を月1回から増やせば、かなり回収できると思います。
- 紙おむつを燃やさないで資源化してほしい。
- 紙おむつの資源化にあたっては、例えば介護施設を1つ選んで、回収、洗浄、分別、資源化のように小さなサイクルで行うよう検討してください。
- 「キエーロ」という生ごみ処理機を作っています。市がこれを広げるよう取り組んでほしい。